

## シンポジウム開催報告

平成 23 年 11 月 7 日

京都大学 工学研究科 山田泰広

先般、下記のシンポジウムを開催しましたので報告いたします。J-DESC からは後援をいただきましたほか、資金的支援もいただきまして大変感謝申し上げます。おかげさまでシンポジウムは成功裏に終了いたしました。今後もこの分野の研究と一般への普及活動を推進してゆく所存ですので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

### 記

名称（和文）：第 5 回国際海底地すべりシンポジウム

名称（英文）：5<sup>th</sup> International Symposium on Submarine Mass Movements and Their Consequences: ISSMMTC-5

開催日：2011 年 10 月 24 日～10 月 26 日（野外視察：10 月 23 日、27～28 日）

場所：京都大学 芝蘭会館 稲森ホール

主催：地質科学国際研究計画（IGCP）プロジェクト 585

共催：（社）日本地質学会

京都大学グローバル COE プログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」  
国際統合海洋掘削計画（IODP）

後援：国際地質科学連合（International Union of Geological Sciences）

国際連合教育科学文化機関（UNESCO）

国内関連学協会：（社）物理探査学会・（社）地盤工学会・土木学会・岩の力学連合  
会・日本第四紀学会・日本堆積学会・日本応用地質学会・日本活断層学会・日本  
地すべり学会・日本地震学会ほか

組織委員会：山田泰広（京大，委員長），川村喜一郎，（深田研，事務局），池原研（産総研），  
金松敏也，坂口有人，山本由弦（JAMSTEC），池田安隆，芦寿一郎（東大），  
山本晃司（JOGMEC），佐々真司（港湾技研），辻健（京大），亀村勝美，高木孝枝  
（深田研）

国際アドバイザーボード: Roger Urgeles (CICS), Jason Chaytor (USGS), David Mosher (Canada GS), Michael Strasser (Bremen Univ), Jacques Locat (Laval Univ), 佐々恭二 (ICL President), 大八木規夫 (深田研)

参加者: アジア各国、南北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、日本など 16 カ国から 136 名 (事前登録者と当日登録者の合計)

#### 招待講演者

佐々恭二 (京都大学名誉教授, 国際地すべりコンソーシアム代表)  
Roger Urgeles (スペイン海洋研究所)  
Brandon Dugan (米国 Rice 大学)  
Andrew Lin (台湾中央大学)  
Farrokh Nadim (ノルウェー地盤研究所)  
Gian Andrea Pini (イタリア・ボローニャ大学)  
佐竹健治 (東京大学地震研究所)

#### パネルディスカッション

##### 1. 「海底地すべりダイナミクス」

パネリスト: 佐々真志 (港湾空港技術研究所)、成瀬元 (千葉大学)ほか

##### 2. 「東北沖大地震による津波」

パネリスト: 佐竹健治 (東京大学地震研究所)、フィリップ・ワッツ (Applied Fluids Engineering, Inc.)ほか

##### 3. 「リスク・アナリシスとマネージメント」

パネリスト: 山本晃司 (JOGMEC)、Farrokh Nadim (ノルウェー地盤研究所)、曾我健一 (ケンブリッジ大学)ほか

出版書籍: Yamada, Y., Kawamura, K., Ikehara, K., Ogawa, Y., Urgeles, R., Mosher, D., Chaytor, J., Strasser, M. (Eds.) 2012, Submarine Mass Movements and Their Consequences. Advances in Natural and Technological Hazards Research, Vol. 31, Springer. 756 pp. ISBN 978-94-007-2161-6

公式ウェブサイト: <http://landslide.jp>

#### 概要:

第5回国際海底地すべりシンポジウムは、国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) と国

際地質科学連合（IGCP）の支援の下で活動している地質科学国際研究計画（IGCP）の第585次研究計画が主催する正式な学術会議で、今回初めて欧米以外での開催となった。招待講演者7名のほか、世界各国から海底地すべりとそれに関連する幅広い領域の研究者が京都大学に集い、野外地質観察、海洋調査、モデリング、解析などに基づいた海底地すべりとその関連研究に関する最新の研究成果を発表した。また、内外の著名な研究者を招聘して、地震と津波、地盤流動、リスクアセスメントなどを多方面から議論するパネルディスカッションを行った。さらにシンポジウムに関連してSpringer社から査読付英文論文集（単行本）を出版した。

以上

上記に関する問い合わせ先：

第5回国際海底地すべりシンポジウム事務局：

FAX 03-3944-5404

Email: [info@landslide.jp](mailto:info@landslide.jp)

代表者連絡先：

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂Cクラスター

京都大学 大学院 工学研究科 都市社会工学専攻

山田 泰広

e-mail: [yamada@earth.kumst.kyoto-u.ac.jp](mailto:yamada@earth.kumst.kyoto-u.ac.jp)

tel: 075-383-3204

fax: 075-383-3203